## ご冥福をお祈りします

お	名前	性別	亡月日	享年	地区	
十市	健一	男	6.1	90	⑩北本町1	
山﨑	ミサ	女	6.4	94	@ 佐野	
前田	道雄	男	6. 5	84	<b>a</b> 谷相	
杉本キヌヱ		女	6. 10	89	⑩別府	
山﨑	好子	女	6. 10	90	⑩西本町3	
小松	榮子	女	6.10	97	魯永野	
鍵山	裕子	女	6.14	97	⑩北本町上1	
岡崎	艶子	女	6. 15	100	<b></b>	
髙嶋田清子		女	6. 17	92	@北組西	
鍵山	誠一	男	6. 18	73	@ 伏原	
西村	光男	男	6. 20	63	⑩小島	
中山	正彦	男	6.20	92	@秦山町1	
谷内	豊香	男	6.24	62	◎東本町5	
森田	和代	女	6. 24	92	1900	
北村	克介	男	6. 26	96	⑩東本町4	
森田	義喜	男	6.27	76	@宝町3	
北村	智賢	男	6.27	91	<b></b> 畫生野	
野々下滿州男		男	6.29	88	@北組西	
原	秋	女	6.29	92	⊕久次	
髙野	繁	女	6.30	94	@中組	

※地区名の⑩は土佐山田町、働は香北町、⑩は物部町です。 ※ご家族の同意をいただいた方のみ掲載しています。

#### 市の人口 今和3年7月1日現在

総人口 25,838人	男 12,240人 女 13,598人
前月比 -34人	-19人 -15人
<b>山田</b> 19,957人	<b>香北</b> 4,277人 <b>物部</b> 1,604人
前月比 —23人	-4人   -7人
世帯数 13,161世紀	帯 <b>転入</b> 31世帯 <b>6 月 出生</b> 4人
前月比 一4世帯	<b>転出</b> 28世帯 <b>届出死亡</b> 24人



赤ちゃん 性別 出生月日 父

山﨑未華子 女 哲子 🚳 太郎丸 6.18 祐輔

松岡 咲茉 女 蓮 みずき 🛈 北組西 6.19

### 7月8日第386回市(物部) Ħ

++ ≡	樹 種		スギ(円/㎡)		ヒノキ(円/㎡)		
材長	径 級		直•小曲	曲	直・小曲	曲	
	12cm下		9, 000	9, 000	10, 500	10, 500	
4 m	13cm~14cm		9, 000	9, 000	13, 500	10, 500	
	15cm~16cm		12, 500	10,000	24, 500	17, 500	
	18cm~22cm		14, 500	13,000	19,000	17, 500	
	24cm~28cm		15,000	13,000	24, 000	21, 000	
	12cm下		8, 000	8, 000	9, 000	9, 000	
	13cm~14cm		9, 000	8, 000	11, 500	8, 500	
3 m	15cm~16cm		15,000	12,000	23, 000	13,000	
	18cm~22cm		20,000	18, 500	19,000	17, 500	
	24cm~28cm		19,000	17, 500	19,000	17, 500	
2 m	20cm_L		8, 500	8, 500	12,000	9, 000	
6 m	18cr	n∼22cm	23, 000	21,000	28, 000	31, 500	
市況	物部	杉・桧15cm上続伸。杉は4mも上昇したがまだ3m 有利。桧は総合的に4m有利だが15~22cmで3m急 騰。伐採後早期出荷お願いします。					
	香美	杉桧共に径級22cmまでは3m造材有利。24cm上および低質材は4m造材有利。材が滑る時期ですので材長に注意の上余尺10cm程度お願いします。					
営業 時間		月曜日 ~ 金曜日 8時~17時(祝祭日休み)					

なお、上記の単価は1㎡あたりの平均単価です。

#### 【問い合わせ先】

物部森林組合ストックヤード (物部町中谷川☎314) ☎57-3540 香美森林組合国見支所/繁藤ストックヤード (土佐山田町繁藤140-7) ☎57-9114

明の花や蛇の目差し掛け友送る エウスゲの坂老齢忘れ妻走る 疾れ顔見せて帰りぬ田植妻 疾に水きりなく生れて落ち飛瀑 をでがる。 では、まりないを表ででででである。 では、まりないでは、まりは、まりないでは、まりないでは、まりないでは、まりないでは、まりないでは、まりないでは、まりは、まりないでは、まりは、まりな 夕軒端明珍風鈴風さそふ月に咲く小庭のバラの数増しぬ梅雨雲の欝流れゆく処なし 万緑やお国訛の土讃線 ないまない ないまない ではなくまない ではない ではな ではない ではない ではない ではない ではない ではな 花筒は並べて横向く春彼岸苗床は水口様に見守られすースコール胸に抱きて朝を 今は昔路傍に咲きし草のお山の神静かに在にする人 聖火継ぎ決めるポーズや風光る 寝て起きて食べて昼寝や梅雨に入る や里の景色も様変わり 胸に抱きて朝を待つ 花敷 Ø 明 山 三 中 山 﨑 西 野 地 貴 子 石 百 蔵 和 薫 紫 寿 美 美 茂 也 郎 乃 美 美 茂 

か

ほ

<

俳

句

会

青葉風ワルツを奏で稲と舞う 木々の中を通り青葉風が生れ、近くの水田の 木々の中を通り青葉風が生れ、近くの水田の で稲と舞うと詠った。気持ち良く楽しい一句 で稲と舞うと詠った。気持ち良く楽しい一句

牧場が散歩のコース日脚伸ぶを荒れて咲き尽したる濃山吹を荒れて咲き尽したる濃山吹を関におじぎしている夏椿

赤白

の椿あつ

 $\varnothing$ 

し首飾

 $\bigcirc$ 

さつき一

れる

美

良

布

俳

会 **\**  岡崎

選

の異邦 輪癒やさ

甲 高 前 中 内 野川 根 村藤 田 内 ゆ 川 順 里 子・ 光 子 り女 姓 子 り

す。<した夏座敷から青青とした夏の山が見える。静かに佇むその圧倒的な存在感は、山の神の在りよう其の物である。作者と山との対比、夏座敷から見る山、山の神が見守る夏座敷。一読心安らぐ一句である。

# 俳句・ 短歌の投稿方法

重き風まはして梅雨の扇風機香日傘の我に気づかず吾子過ぐる一雨が一色重ね七変化の雨が一色重ね七変化のま話の中を水中花

窓越しに枇杷の熟るるを見てをり 吹く風は昭和のまんま濃紫陽花

め

▼投稿方法は自由。 住所、 氏名、 電話番号 を明

す。
▼誌面の都合により掲載されない場合がありま
▼誌面の前月の1日までに投稿してください。
掲載月の前月の1日までに投稿してください。

老鶯や山家の暗さ華やぎに七曜を素直に生きて古茶新茶

ただし

1781 - 8501 (住所記載不要) AX (投稿先) 総務課内広報委員会事務局

(住所記載不要) AX 3・595

8

夏場所のテレビ寂しき無観客草として引くを迷ひぬ庭石菖草として引くを迷ひぬ庭石菖

大場秋山吉川小松美大場</

今月のキラリ

広報委員会

の神静かに在はす夏座敷

山 山 森中崎本 明石のである。